

# どんぐり山行通信 八海山(薬師岳)

第67号

2011年9月17日(土)  
曇り  
参加者 20名

はっかいさん やくしだけ(1654m)



六日町インターをおりるとまもなく八海山の岩峰が見え隠れする。ロープウェイは700mの高度を5分で登りきる。魚沼こしひかりの水田が黄金色に広がって



いる。いつ雨が降ってもおかしくない空模様だ。緩やかな雑木林の間を登っていく。イワカガミの小さな丸いつやのある葉っぱがぎっしりと生えている。6月ごろは花が真っ盛りだろう。



西側の山並みが曇り空に浮かぶ。オヤマリンドウが鮮やかな紫色に咲いている。ほどなく近代的な女人堂が現れる。立派な八海山の石碑が建っているところで休憩。薬師岳をめざ



して出発。途中水場で冷たい水を補給。鎖場をのろのろと登る。丁度昼頃薬師岳の頂上にたどり着く。正面には地蔵岳がそびえる。天地人の直江兼継役妻夫木が立ったところとか。きっと胸をそらして天下を睥睨したのだろう。すぐ東には越後駒ががっちりとした偉容で兼継と対峙している。立派なものだ。雲空だけれど視界はよくこの前登った苗場山、巻機山、遠く妙高も見える。山座同定というけれど、地図、方角、山容から山名を割り出すのはなかなか難しい。皆、兼継になったつもりで集合写真。頂上にも天照大神の銅像があり、信仰とは切っても切れない。この先19の鎖場で大日岳に至るが今日は八峰を完登した気分から引き返す。そろそろと及び腰で鎖場を下り、モリアオガエルの生息する漕池でおたまじゃくしを見る。曇りだったので、歩きやすかった。帰りのお土産屋さんで店員のいないのを幸いに塩沢町の日本酒「巻機」をぐびぐびと試飲し買わないでスタスタと帰る。罪深い人間達だ。懺悔して罪を告白し、神の許しを乞わなければ救いはない。今度来るときは花の季節に八峰に登り、土産に「八海山」を買いたいものだ。それまでは百薬の長の試飲を繰り返して生きながらえよう。



柚子シャーベットで御機嫌。この方は試飲していません。本人の名誉のため。

